



サトイモの茎と曲がりネギをカットし開会を祝う関係者

10/1

旬のいものこ汁 味わって 磐井河原いものこ会 実行委員会

第39回磐井河原いものこ会の開会セレモニーが開かれました。特産の「南沢土垂里芋」や曲がりネギを使った「いものこ汁」を野外で手軽に楽しめる磐井河原のものこ会は、令和4年度は一関遊水地緑地公園で、11月6日までの土曜、日曜、祝日に開催されました。

9/27

来年度に向け管理を確認 JA果樹部会桃専門部



モモの缶詰の品質を確認する生産者

加工モモ栽培管理指導会を開きました。令和4年産の加工モモ出荷は前年比103%となり、昨年実績を上回りました。岩手缶詰㈱の室塚彬課長代理が来年度に向けた剪定や病害虫防除を指導した他、本年出荷原料を使用した缶詰製品を試食し品質を確認しました。

9/28

交通安全誓い誓約書提出



誓約書を手渡す高橋敬之常務⑤

秋の交通安全運動期間に合わせて役員間431人が自署した交通安全誓約書を一関警察署と千厩警察署に提出しました。また、事故のない社会づくりや地域貢献を目指し、啓蒙品の交通安全のチラシが入ったマスク1581セットを寄贈しました。

9/28

加温で最後まで収量確保 JAきゅうり部会



圃場巡りし情報交換する参加者

抑制キュウリ目ぞろえ会、圃場巡回を開きました。JA園芸課の渋谷光職員が「夜温の低下により数量が減少するため、しっかりと加温して出荷数量を確保してほしい」と呼び掛けました。その後、参加者は圃場を巡回し、生育状況や栽培管理などを確認しました。

9/29

中生種の適期収穫を指導 JA果樹部会りんご専門部



新品種の試食をする参加者

中生種収穫指導会を管内3会場で開催しました。早生種の販売状況や他県産リンゴの出荷動向を踏まえ「恋ふじ」や「ジョナゴールド」などの中生種の成熟状況や収穫のポイント、荷受け体制を確認しました。新しいりんご品種の特長などが紹介され、試食も行いました。

10/3

移動金融店舗車 運行開始

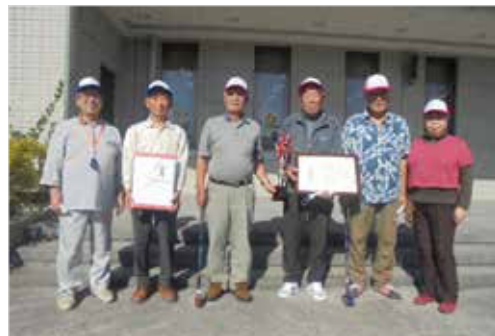
移動金融店舗車「このみん号」の運行を開始しました。9月末で営業を終了したATMの設置地域を巡回し、貯金の入出金や記帳、税金の納付等の業務を行います。交通手段の少ない高齢者の利便性維持や、災害時の支援、支店閉鎖時の臨時店舗にも役立てます。



「このみん号」の運行をテープカットで祝う関係者

9/29

鈴木さんがグループ1位



1位を喜ぶ鈴木さん(右から3人目)とチームメイト

J Aで年金受給する方を対象としたJ Aバンク岩手第15回グラウンドゴルフ大会が開かれ、50チーム(1チーム6人)が参加しました。管内からは花泉平泉、東山、川崎の4チームが出場し、個人の部第2グループで鈴木秀夫さん(東山)が1位に輝きました。

9/30

活躍選手へリンゴを贈呈



須藤選手にリンゴを手渡す佐藤選手(組合長)

日本女子ソフトボールリーグ・JDリーグ第13節一関ラウンドが一関市運動公園野球場で開かれ、4チームのリーグ戦が行われました。トヨタと日本精工の試合でMWP賞を獲得した日本精工の須藤祐美選手に、管内産のリンゴ「紅いわて」を贈りました。

10/12

研修を生かし普及活動へ



アクセサリーの完成を喜ぶ参加者

J A生活シーダー全体研修会を開き、「家の光」記事を活用したフェルトで作る「ぶどうのアクセサリー」を作成しました。J A生活シーダーの佐藤幸子さん(室根)の指導で、参加者18人は細かい作業に苦戦しながら完成させました。各地域での普及に生かします。

10/13

ごみ資源の分別方法学ぶ J A女性部フレッシュ部



ごみ資源のリサイクルについて学んだ学習会

環境学習会を開き、大東清掃センターの佐藤真樹職員を講師にごみ出しの基本ルールやごみの分け方・出し方などについて学びました。会員からは、普段から疑問に思っているごみの分別の仕方についてたくさん質問が出され、有意義な学習会となりました。

10/3

**若手生産者が
企画し開催
J Aなす生産部会**

地元のナスをもっと知ってもらい産地を盛り上げようと、若手生産者が「復活！秋のナスフェス2022」を企画し、ベリーノホテル一関でメニューの紹介を行いました。8～10日の3日間、管内の飲食店11店舗でオリジナルメニューが提供されました。



ナスフェスをPRする若手生産者

10/14

**有望品種の特性探り検討
J A果樹部会担い手班**



「奥州ロマン」を視察し特性などを確認する参加者

スキルアップ研修会を開きました。一関農業改良普及センターの高橋司首席農業普及員が、食味にも影響する着色管理方法を指導しました。有望品種の紹介では、「奥州ロマン」など15種類のリンゴの食味や特性を確認し、導入品種の検討に役立てます。

10/17

**定植前の圃場準備万全に
J A野菜部会**



育苗中のハウスを確認する参加者

加工タマネギ定植指導会を佐藤正弘さん（一関）の圃場で開きました。定植目安は10月下旬から11月初旬とし、育苗状態や定植時期、栽培管理などを確認しました。J A園芸課の吉田成美職員は「定植前に圃場準備をしっかり行つてほしい」と説明しました。

10/19

**おしゃれなもんぺが完成
J A女性部花泉中央支部**



出来上がったもんぺを試着する参加者

家の光記事活用グループは、「おしゃれもんぺ」を作りました。持ち寄った布を型紙通りに裁断し、ミシンを使ってポケットなどを縫い合わせ、オリジナルのもんぺが出来上がりました。参加者は完成したもんぺを試着し、それぞれの出来に笑顔を見せました。

10/20

農業体験で業務に発想を



餌入れの掃除をする新人職員

令和4年度職員農業研修を、畜産農家で行いました。入組3年目の職員が、餌やりや除ふん作業などを体験しました。J A米穀課の加藤大智職員は「牛と触れ合う機会がなかったため、いい経験になった。つながる部分があるので業務に生かしていきたい」と話しました。

ふれあい学校農園

管内の小学校・幼稚園では、稲刈りやサツマイモの収穫作業が行われました。



9/29 巖美小学校 (一関)

J Aの佐藤克徳営農部長所有の田んぼで、5年生17人が鎌とバインダーで稲を刈り取りホニオに掛けました。



9/29 金沢小学校 (花泉)

所有者の佐々木弘さん(花泉)とJA花泉青年部金沢支部の指導で、5年生12人が稲刈りを体験しました。



9/28 新沼保育園 (藤沢)

J A藤沢青年部とJA女性部藤沢中央支部の指導で、3、4、5歳児22人がエダマメを収穫しました。



9/29 新沼小学校 (藤沢)

地元農家の菅原三千司さん(藤沢)のピーマンの圃場で、3年生7人が見学や収穫を体験しました。



10/6 東山小学校

地元農家やJA女性部東山中央支部らの指導で、5年生41人が「こがねもち」の稲刈りを体験しました。



10/6 平泉幼稚園・平泉保育所

J A平泉青年部の指導で、5歳児35人が園内の畑に6月に植えたサツマイモの収穫体験をしました。



10/4 黄海小学校 (藤沢)

地元農家の大住正樹さん(藤沢)のミニトマトの圃場と藤沢ライスセンターを3年生16人が見学しました。



10/18 川崎小学校

(農) 門崎ファームの組合員の指導で、5年生23人がメダカ米の稲刈りを手作業で行いました。



10/18 弥栄幼稚園 (一関)

J A一関青年部弥栄支部の指導で、3、4、5歳児9人が5月に植えたサツマイモの収穫体験をしました。



10/19 平泉小学校

J A平泉青年部の指導で、5年生38人が9月に手刈りし天日乾燥した稲の脱穀作業を体験しました。



10/19 真滝幼稚園 (一関)

J A女性部一関中央支部真滝支部の指導で、3、4、5歳児16人がサツマイモの収穫体験をしました。



10/21 龍澤寺こども園 (一関)

J A一関青年部中里支部の指導で、年長児35人とその保護者が「こがねもち」の稲刈りを行いました。